



平成 24 年に大蔵村で発生した地すべり



土砂災害を想定した避難訓練

土砂災害 から命を 守るために

身近に潜む土砂災害

近年、豪雨の頻発化・激甚化によって、毎年のように全国各地で大規模な水災害や土砂災害が発生しています。こうした自然災害の激化は、私たちの日々の生活や社会経済に深刻な影響を及ぼすだけでなく、逃げ遅れなどによる人的被害の拡大をもたらしています。

山形県は県土の約 7 割が山地によって占められ、急な斜面や沢など土砂災害の危険性が高いとされる場所に立地する人家や学校なども一部存在しています。

また、土砂災害は地下水位の上昇に起因する 경우가多く、大雨だけでなく春先の雪解けなどにも注意が必要です。

山形県に暮らす私たちにとって、土砂災害はどこか別の場所であれかを襲った悲しい出来事では決してありません。

土砂災害に対する心構え

自然災害に直面した際に何の備えもなければ、とっさに正しい判断はできません。命を守るため、日ごろから切迫した災害を想定しておくこと、そして、自身が危機的な状況となる前に適切な判断や行動がとれるようあらかじめ災害や防災の知識を身に付けておくことはとても大切です。

特に、土砂災害は洪水などの水災害と比較して、突発的に起こりやすく、人的被害につながりやすいという特徴があります。これは土砂災害の危険を感じてから避難などの災害対応を開始しては、すでに逃げ遅れの状態に陥っているおそれがとても高いこととなります。土砂災害は日ごろからの心構えの充実が自然災害の中でもとりわけ重要な防災対策となっています。

我がこととして捉えて正しく備える

災害時の適切な判断には、平時からの正しい備えが必要です。また、防災意識をいっそう醸成するためには、土砂災害を我がことと捉え主体的に取り組を進めなければなりません。

県は、土砂災害を我がこととして、より身近なものと感じてもらえるよう、これまで県内で発生した土砂災害の被災状況や砂防施設の写真などを活用し、県独自の啓発動画（タイトル：土砂災害から命を守るために）を作成しました。

動画は、土砂災害の概要から防災のために必要な対策などを子ども達からも理解いただけるよう紹介しています。

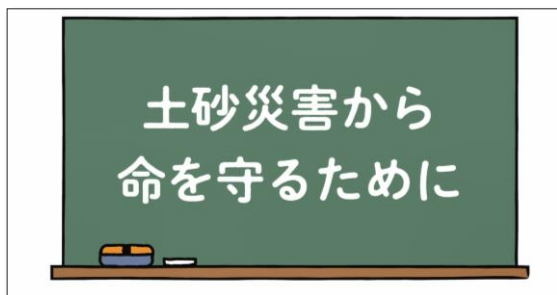
学校の防災学習に限らず、地域での講習会などの際にもぜひ御利用ください（詳細は次頁を参照ください）。

土砂災害から命を守るために ～ 動画内で説明している主な内容 ～

①土砂災害（土石流、地すべり、がけ崩れ）の概要

土石流、地すべり、がけ崩れの3つの土砂災害について、それぞれの特徴や前ぶれなどを紹介しています。

被災状況などを説明している写真は、近年、実際に県内で発生した被害事例を取り入れていますので、比較的身近な場所で土砂災害が発生していることを感じていただくことができます。



②ハード対策（土砂災害を防ぐための対策施設）

土砂災害による被害を防ぐため、県が整備を進めている砂防えん堤などハード対策について紹介しています。

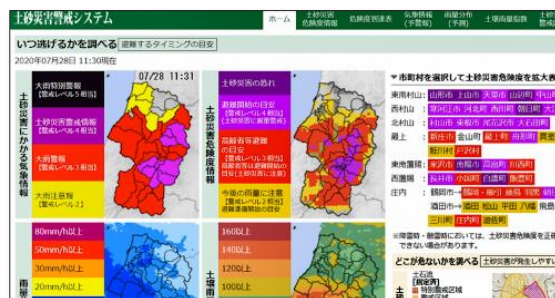
被害事例と同様、動画に出てくる対策施設は県が砂防事業として実際に整備したものです。土砂災害に対する施設効果や防止メカニズムなどを学ぶことで、よりいっそう理解を深めることができます。



③ソフト対策（命を守るための平時と災害時の取組）

上述のとおり、県では施設整備（ハード対策）を進めていますが、きわめて激甚化した大雨など想定外の事態にあっては絶対の安全は確保できません。そうした状況においても適切な避難や災害対応ができるよう、命を守るために必要な平時からの備えや災害時の適切な判断の重要性とともに、ソフト対策の推進を呼びかけています。

山形県土砂災害警戒システムなど防災に関する情報の集め方や自らが積極的に防災学習を進めるための情報が集約されたサイトやアプリなども紹介しています。動画の視聴後にはぜひ実際に利用してみてください。



お問い合わせは
こちらまで

山形県 県土整備部 砂防・災害対策課 砂防企画担当
(電話) 023-630-2225

(令和4年3月作成)